

第1章 調査概要

第1章 調査概要

1. 調査の目的

人生100年時代においては、長い人生を見据え、固定的な性別役割分担意識や性差に関する偏見・固定観念、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）にとらわれずに、「教育、仕事、老後」という単線型の人生設計ではなく、人生ステージに応じた様々な働き方、学び方及び生き方を選べるよう、主体的なライフキャリア形成が重要となっている。

急速なテクノロジーの進展・利活用の広がりの中で、デジタルを始めとするビジネススキルの習得は、人生における多様な選択を可能にし、所得向上・経済的自立にもつながることが期待されるが、企業における教育訓練の受講割合は、女性よりも男性の方が高く、非正規雇用労働者よりも正規雇用労働者の方が高くなっている。また、出産・育児等によりキャリアのブランクがある女性が再就職に踏み出せない背景として、自身の過去の就業経験やスキル等に不安を感じていることが考えられる。

加えて、女性も男性も、仕事以外に個人としての多様な活動に参加し役割を持つことが、生涯にわたり豊かな人生をもたらすと考えられるが、変化の激しい現代社会においては、それらの活動においても、継続的な学び直しが重要であり、様々な学びの積み重ねは、人々の多様な幸せ（well-being）の向上にもつながると考えられる。

こうした問題意識の下、男女、年代別等に、人生を豊かにする学びに対する関心や意識の傾向を明らかにするとともに、学びを促進、継続するために求められる支援等を把握することで、男女共同参画の視点を踏まえた生涯学習や能力開発の推進に向けた検討材料とする。

2. 調査検討委員会

本調査を効果的に遂行するため、有識者からなる調査検討委員会（以下「検討委員会」という。）を設置し、調査対象の割当方法や調査事項、調査票の設計、集計結果の分析方法、報告書（案）等に関して検討を行った。

① 構成（主査以外は五十音順・敬称略）

氏名	所属・役職
【主査】山田 久	法政大学経営大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授
井上 恵理菜	株式会社日本総合研究所 調査部 副主任研究員
大嶋 寧子	リクルートワークス研究所 研究センター研究1グループ長 主任研究員

② 開催実績

回	日時	主な議題
第1回	令和7年11月5日（水）	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画について 文献調査結果（速報）について 意識調査の実施について
第2回	令和8年1月20日（火）	<ul style="list-style-type: none"> 文献調査結果について 意識調査結果について
第3回	令和8年2月18日（水）	<ul style="list-style-type: none"> 報告書（案）について

3. 調査事項

調査項目及び設問文の一覧は以下のとおりである。

設問番号	調査項目	設問文
属性情報の把握：本人・世帯情報		
Q1	性別	あなたの性別を教えてください。(1つ選択)
Q2	年齢	あなたの年齢を教えてください。(1つ選択)
Q3	居住地	現在のお住まいはどこですか。(1つ選択)
Q4	生まれ育った地域	あなたが、中学校を卒業するまでに、最も長く住んでいたのはどこですか。(1つ選択)
Q5	配偶者の有無	配偶者の有無について教えてください。(1つ選択)
Q6	同居している子供の有無	同居している子供はいますか。(当てはまるものを全て選択)
Q7	最終学歴	あなたの最終学歴を教えてください。(1つ選択)
Q8①	普段の1日の時間配分	①あなたの普段の1日の時間配分について、1～4のおおよその時間を教えてください。(5は自動計算) 1 収入を伴う仕事の時間 2 通勤・通学時間 3 家事・育児・介護の時間 4 睡眠、食事、身の回りの用事の時間 5 その他(自由時間など) ②また、1日のうち趣味・自己啓発・勉強・自分のために使うおおよその時間を教えてください。(それぞれ整数を入力)
Q8②	趣味・自己啓発・勉強・自分のために使う時間	
Q9	家事関連時間の配偶者との分担割合	あなたは、日頃、配偶者と「家事・育児・介護」をどのくらい分担していますか。全体を100%(パーセント)としてお答えください。(整数を入力)
Q10①	個人年収	今年(2025年)の①個人年収(あなたご自身)と、②世帯全体の年収を教えてください。(それぞれ、当てはまるものを1つ選択)
Q10②	世帯年収	
Q11	過去5年間の出来事	あなたには、過去5年間で次のような出来事等がありましたか。(当てはまるものを全て選択)
Q12	仕事以外で参加している取組や活動	あなたは、仕事以外に、定期的に参加している取組や活動はありますか。(当てはまるものを全て選択)
Q13	就業状態・雇用形態	現在のあなたの就業状態・雇用形態を教えてください。(1つ選択)
Q14	勤務先の企業規模	現在のあなたの勤務先の企業規模を教えてください。(1つ選択)
Q15	職種	現在のあなたの勤務先での職種を教えてください。(1つ選択)
Q16①	通算の就業年数	あなたの①これまでの就業年数を教えてください。また、現在仕事をしている場合は、②現在勤めている会社等での勤務年数を教えてください。(それぞれ、当てはまるものを1つ選択)
Q16②	現在の会社等での勤続年数	
Q17	多様な働き方の利用状況	あなたが現在利用している働き方を教えてください。(当てはまるものを全て選択)
Q18	転職経験	あなたは、転職したことはありますか。(1つ選択)
Q19	転職活動で重視したこと	転職する際、どのようなことを重視しましたか。転職経験が複数ある場合は、直近の転職活動で重視したことを教えてください。(当てはまるものを全て選択)
Q20	配偶者の就業状態・雇用形態	配偶者の現在の就業状態・雇用形態を教えてください。(1つ選択)

設問番号	調査項目	設問文
広義の学びに対する意識		
Q21	学び直しへの意欲	あなたは、人生をより良くするために「新しいことを身につけたい」・「いまの自分の能力やスキルを更に磨きたい」という気持ちを持っていますか。 0点～10点でお答えください。(1つ選択)
Q22	学びへの意欲	あなたは、次のようなことを学びたいと思いますか。本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。(それぞれ、当てはまるものを1つ選択) i 仕事や職業キャリアに関すること、ii 家庭や日常生活に関すること、iii 文化・教養に関すること、iv 地域活動や社会貢献活動に関すること、v 健康に関すること、vi その他
Q23	学びの経験	あなたは、次のようなことを過去5年間で学びましたか。期間内に1日(1回)以上学んだ場合は、「学んだ」とお答えください。本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。(それぞれ、当てはまるものを1つ選択) i 仕事や職業キャリアに関すること、ii 家庭や日常生活に関すること、iii 文化・教養に関すること、iv 地域活動や社会貢献活動に関すること、v 健康に関すること、vi その他
Q24	仕事や職業キャリア以外の学びの場所・形態	過去5年以内に学んだ【Q23のii～viで学びの経験があると回答した項目】について伺います。どのように学びましたか。有料・無料を問わず、お答えください。(当てはまるものを全て選択)
Q25	仕事や職業キャリア以外の学びの効果	過去5年以内に学んだ【Q23のii～viで学びの経験があると回答した項目】について伺います。あなたご自身がこれらのことを学んだことで、どのような効果を感じましたか。現在も学び続けている場合は、いま感じている効果を教えてください。(当てはまるものを全て選択)
Q26	仕事や職業キャリア以外で学びへの意欲はあるが、1年以内に学びの経験がない理由	過去1年以内に学んでいない【Q22のii～viで学びへの意欲があると回答したが、Q23で過去1年以内に学んでいない項目】について伺います。あなたが、過去1年以内に学んでいない理由を教えてください。(当てはまるものを全て選択)
Q27	今後学ぶために必要なこと	今後、あなたが学ぶためには、どのようなことが必要ですか。(当てはまるものを全て選択)
Q28	学ぶことへの意識	下記の項目について、あなたのお考え・思いに近いものを教えてください。(それぞれ、当てはまるものを1つ選択)
Q29	自身の学びに対する配偶者の姿勢	あなたご自身が学ぶことに対して、あなたの配偶者はどのような姿勢ですか。あなたが感じている配偶者の姿勢に近いものを教えてください。(1つ選択)
デジタルツールに関する知識やスキルに対する意識		
Q30	デジタルツールに関する知識やスキルの習得に対する意向(目的別)	あなたは、デジタルツールに関する知識やスキルを身につけたいと思いますか。身につけたい理由として最も近いものを教えてください。(1つ選択)
Q31	身につけているデジタルツールに関する知識やスキル	あなたは、次のようなデジタルツールについて、基礎あるいはそれ以上の知識やスキルを持っていますか。(当てはまるものを全て選択)
Q32	今後身につけたいデジタルツールに関する知識やスキル	あなたが、今後身につけたい(維持や更新を含む)デジタルツールに関するスキルや知識はどのようなことですか。(当てはまるものを全て選択)
Q33	デジタルツールに関する知識やスキルを身につけたいと思わない理由	デジタルツールに関する知識やスキルを身につけたいと思わない理由をお答えください。(当てはまるものを全て選択)

設問番号	調査項目	設問文
仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識		
Q34	無業者の今後の就業意欲	あなたは今後、働きたいと思いますか。(1つ選択)
Q35	仕事やキャリアへの意識	下記の項目について、あなたのお考え・思いに近いものを教えてください。(それぞれ、当てはまるものを1つ選択)
Q36①	仕事や職業キャリアに関する学びの場所・形態	過去5年以内に学んだ【仕事や職業キャリア(転職・セカンドキャリア等を含む)に関すること]について伺います。あなたは、仕事や職業キャリア(転職・セカンドキャリア等を含む)に関する学びについて、過去5年間でどのように学びましたか。 ①会社等の指示を受けての学びと、②自発的な学びのそれぞれについて教えてください。(それぞれ、当てはまるものを全て選択)
Q36②		
Q37	仕事や職業キャリアに関する学びの内容	あなたが、仕事や職業キャリアのために学んだ/学んでいる能力やスキルはどのようなことですか。(当てはまるものを全て選択)
Q38	仕事や職業キャリアに関する学びにかけた時間	仕事や職業キャリアに関する学びについて、過去1年間であなたはどのくらいの時間をかけて学びましたか。学んだ月の1か月あたりの平均時間をお答えください。(1つ選択)
Q39	仕事や職業キャリアに関する学びにかけた費用	仕事や職業キャリアに関する学びについて、過去1年間であなたはどのくらいの費用をかけましたか。学んだ月の1か月あたりの平均金額をお答えください。(1つ選択)
Q40	仕事や職業キャリアに関する学びのコミュニティ・環境	仕事や職業キャリアに関する学びについて、あなたのコミュニティ・学びの環境で当てはまるものを教えてください。(当てはまるものを全て選択)
Q41	仕事や職業キャリアに関する学びの目的	あなたが、仕事や職業キャリアのために学んだ/学んでいる主な理由を教えてください。(当てはまるものを全て選択)
Q42	仕事や職業キャリアに関する学びの主観的な効果(現在)	あなたの仕事や職業キャリアに関する過去5年間の学びは、現在の仕事やキャリア、転職、再就職などにいかせていると思いますか。(1つ選択)
Q43	仕事や職業キャリアに関する学びの効果への期待	あなたの仕事や職業キャリアに関する過去5年間の学びは、将来的に、仕事や昇給・昇進・昇格、転職、独立等のキャリアアップにつながると思いますか。(1つ選択)
Q44	仕事や職業キャリアに関する学びの障壁	あなたが、仕事や職業キャリアに関して学ぼうとする上で、どのような課題や困りごとがありますか。(当てはまるものを全て選択)
Q45	就業先で行われている学びに関する取組や支援	あなたの現在の就業先では、次のような取組や支援がありますか。(当てはまるものを全て選択)
Q46	仕事や職業キャリアに関する学びの充実のために必要なこと	あなたは、仕事や職業キャリアのための学び(職場で提供される研修等の機会を除く)を充実させるために、どのようなことが必要だと思いますか。(当てはまるものを全て選択)
Q47	仕事やキャリアへの満足度	あなたは、現在の仕事や働き方、職業キャリアについて、満足していますか。(それぞれ、当てはまるものを1つ選択)
Q48	仕事や職業キャリアに関して学びたい能力やスキル	あなたが、仕事や職業キャリアに関して今後学びたい能力やスキルはどのようなことですか。(当てはまるものを全て選択)
役割や居場所に対する意識		
Q49	現在の自分の役割や居場所に対する意識	現在、あなたは普段の暮らしの中で、自分の役割や居場所があると感じていますか。あなたの気持ちを教えてください。(1つ選択)
Q50	将来の自分の役割や居場所に対する意識	5年後、あなたは普段の暮らしの中で、自分の役割や居場所を持っていると思いますか。あなたの気持ちを教えてください。(1つ選択)

4. 調査方法・調査対象

調査方法	インターネット・モニターに対するアンケート調査 (株式会社マーケティング・アプリケーションズの登録モニターが対象)
調査名	人生を豊かにする学びに関する調査
調査対象	国内在住のインターネットパネル登録モニター (20歳以上69歳以下)

5. 調査期間

令和7 (2025) 年12月2日 (火) ~12月15日 (月)

6. サンプル割付方法

(1) 回収数 : 20,000人

(2) サンプルの割付及び回収状況

令和2年国勢調査 就業状態等基本集計における性×年代×就業状態・雇用形態別人口の分布①に基づき割付を行い、②のとおり回収した。おおむね割付どりの回収数となった。

①【回収割付】 (国勢調査による分類)

※割合の計算に当たり、労働力状態不詳、従業上の地位不詳及び通学 (学生) は除外。

- 正規雇用 : 正規の職員・従業員、役員
- 非正規雇用 : 労働者派遣事業所の派遣社員、パート・アルバイト・その他
- その他有業 : 雇人のある業主、雇人のない業主、家族従事者、家庭内職者
- 無業※学生除く : 完全失業者、家事、その他

		正規雇用	非正規雇用	その他有業	無業 ※学生除く	合計
男性	20代	906	266	40	125	1,337
	30代	1,403	141	107	129	1,780
	40代	1,877	135	202	170	2,384
	50代	1,672	134	214	195	2,215
	60代	802	415	292	637	2,146
女性	20代	766	363	23	199	1,351
	30代	764	510	74	435	1,783
	40代	886	891	122	509	2,408
	50代	734	860	138	567	2,299
	60代	283	661	189	1,164	2,297
合計		10,093	4,376	1,401	4,130	20,000

②【本調査回収数】 (本調査の調査項目による分類)

- 正規雇用 : 正規の会社員・職員・従業員、会社経営者・役員
- 非正規雇用 : 非正規の会社員・職員・従業員 (パート・アルバイト、派遣社員、契約社員、嘱託等)
- その他有業 : 自営業・自由業、自家営業の手伝い (家族従事者)、家庭内の賃仕事 (内職)、その他 (働いている)
- 無業 : 学生 (社会人経験あり)、主婦・主夫 (働いていない)、その他 (働いていない)

		正規雇用	非正規雇用	その他有業	無業	合計
男性	20代	920	251	41	125	1,337
	30代	1,403	141	107	129	1,780
	40代	1,877	135	202	170	2,384
	50代	1,672	134	214	195	2,215
	60代	802	415	292	637	2,146
女性	20代	766	363	23	199	1,351
	30代	764	510	74	435	1,783
	40代	886	891	122	509	2,408
	50代	734	860	138	567	2,299
	60代	283	661	189	1,164	2,297
合計		10,107	4,361	1,402	4,130	20,000

また、モニター調査の特性から、最終学歴の構成比が実態と乖離することが懸念されたため、「大卒」の構成比が大きくなりすぎないように回収を行った。なお、回収可能数の制約から、性別×学歴の4区分での割付とした。

令和2年国勢調査 就業状態等基本集計における性×最終卒業学校の種類別人口の分布③に基づき、④のとおり回収した。

③【回収割付（非大卒／大卒の構成比）】（国勢調査による分類）

※割合の算出に当たり、最終卒業学校不詳は除外。

- 非大卒 : 小学校、中学校、高校・旧中、短大・高専
- 大卒 : 大学、大学院

	非大卒	大卒
男性	60.8	39.2
女性	77.1	22.9

④-1【本調査回収数】（本調査の調査項目による分類）

- 非大卒 : 小学校・中学校、高等学校、専門学校（中学校卒業後）、専門学校（高校卒業後）、高等専門学校（5年制）、短期大学
- 大卒 : 大学（学士）、大学院（修士）、大学院（博士）
- その他 : その他

	非大卒	大卒	その他
男性	5,918	3,821	123
女性	7,729	2,294	115

④-2【本調査構成比（非大卒／大卒の構成比）】※割合の算出に当たり、その他は除外

	非大卒	大卒	その他
男性	60.8	39.2	-
女性	77.1	22.9	-

7. 報告書内で使用する用語及び定義

(1) 本調査で使用する用語・定義について

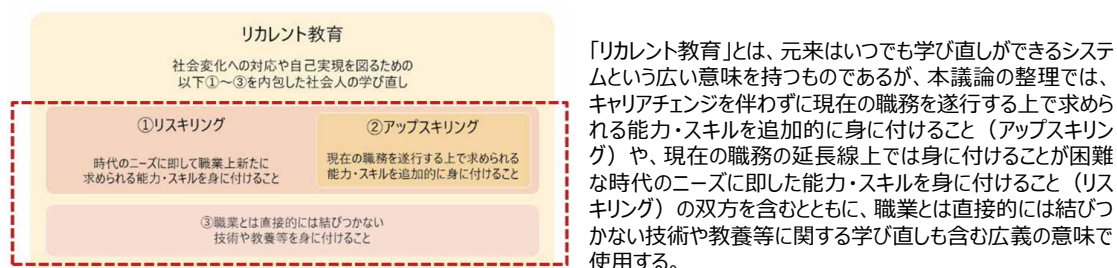
本調査で使用する用語		本調査で用いた定義
就業状態・雇用形態	正規雇用	就業状態・雇用形態を尋ねる設問(Q13)において、「会社経営者・役員」「正規の会社員・職員・従業員」を選択した人
	非正規雇用	同設問において、「非正規の会社員・職員・従業員（パート・アルバイト、派遣社員、契約社員、嘱託等）」を選択した人
	その他有業	同設問において、「自営業・自由業」「自家営業の手伝い（家族従業者）、家庭内の賃仕事（内職）」「その他（働いている）」を選択した人
	無業	同設問において、「学生（社会人経験あり）」「主婦・主夫（働いていない）」「その他（働いていない）」を選択した人
居住地	三大都市圏	居住地を尋ねる設問（Q3）において、「東京都」「神奈川県」「埼玉県」「千葉県」「愛知県」「岐阜県」「三重県」「大阪府」「兵庫県」「京都府」「奈良県」を選択した人
	三大都市圏以外	同設問において、上記以外を選択した人
最終学歴	非大卒	最終学歴を尋ねる設問（Q7）において、「小学校・中学校」「高等学校」「専門学校（中学校卒業後）」「専門学校（高校卒業後）」「高等専門学校（5年制）」「短期大学」を選択した人
	大卒	同設問において、「大学（学士）」「大学院（修士）」「大学院（博士）」を選択した人
学びへの意欲	意欲あり	学びへの意欲を尋ねる設問（Q22）において、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を選択した人
	意欲なし	同設問において、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を選択した人
	分からない	同設問において、「分からない」を選択した人
学びの経験(2区分)	過去5年以内に学んだ	学びの経験を尋ねる設問（Q23）において、「過去1年以内に学んだ」「過去1年以内には学んでいないが5年以内に学んだ」を選択した人
	過去5年間で学んでいない	同設問において、「過去5年間で学んでいない」を選択した人
同好者状況	同好者との集まりあり	仕事や職業キャリア以外の学びの場所・形態を尋ねる質問（Q24）において、「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」を選択した人
	同好者との集まりなし	同設問において、「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」を選択していない人

【集計結果について】

- 結果数値（%）は、小数第2位を四捨五入（報告書内では小数第1位まで表章）しているため、合計の数値と内訳の計とが一致しない場合がある。
- クロス集計（割合）に関してはカイ2乗検定等による検定、数値による回答の平均値に関してはt検定を行っている。

(2) 本調査で対象とした学びの整理

- 本調査では、「学び」を“人生を豊かにする学び”と広く捉えて調査を実施した。
- ここで言う「学び」は、職業上の知識・技術を獲得するだけでなく、自分自身をよりよく変化させる（変化させた）取組・活動とし、「職業とは直接的には結びつかない技術や教養等を身につけること」には、自己啓発を含み、趣味・習い事や人との交流なども学びの一手段と整理した。



出典：文科省資料（第11期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理を踏まえたイメージ図）

- 具体的には、次の6つの事項について、「過去1年以内に学んだ」「過去1年以内には学んでいないが5年以内に学んだ」「過去5年間で学んでいない」を選択肢として、学びの状況を把握した。

Q.あなたは、次のようなことを過去5年間で学びましたか。期間内に1日（1回）以上学んだ場合は、「学んだ」とお答えください。
本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。

 - 仕事や職業キャリア（転職・セカンドキャリア等を含む）に関すること
 - 家庭や日常生活（家事・育児・介護等）に関すること
 - 文化・教養（語学・芸術・歴史等）に関すること
 - 地域活動や社会貢献活動（地域の清掃活動、自治会活動、ボランティア等）に関すること
 - 健康に関すること
 - その他
- また、我が国においては、20-69歳の8割超が就労していること、人生100年時代において有償・無償の区別なく働く期間が長くなっている現状を踏まえ、「i.仕事や職業キャリアに関すること」の学びの状況についても集計・分析を行った。